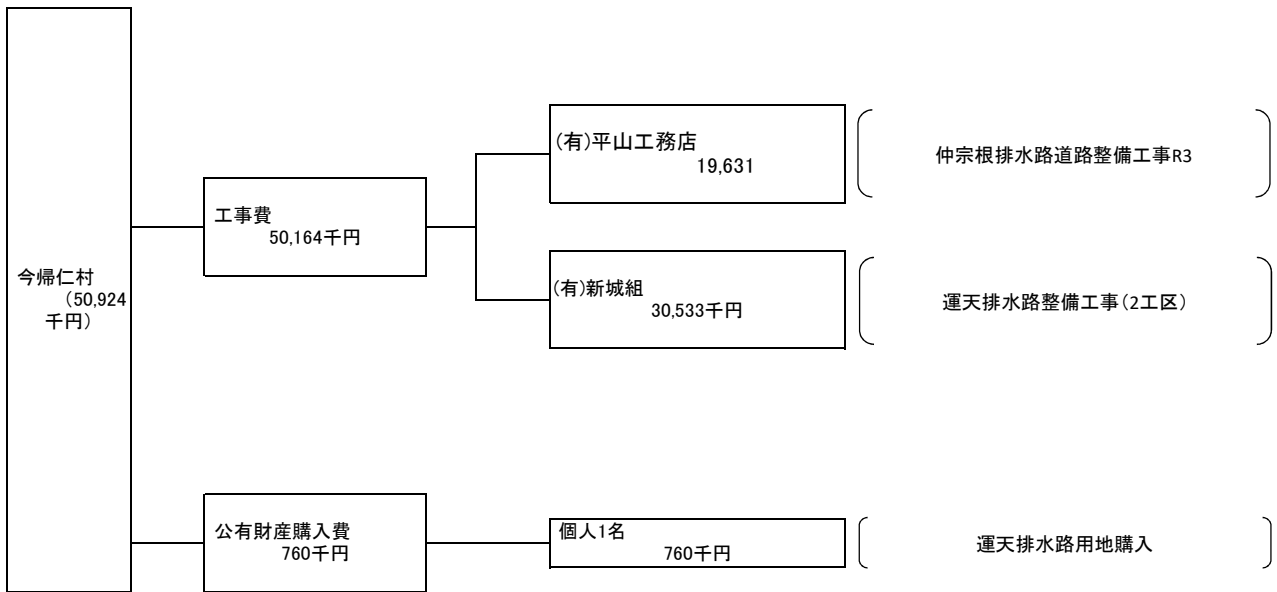


市町村名		今帰仁村					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	景観形成強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所		世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備をおこなう。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度( R4 年度)						
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a)当初予算額	30,000	127,000	64,774	61,119	
	(b)予算現額	20,398	98,500	64,774	56,174		
	(c)増減額(b-a)	▲9,602	▲28,500	0	▲4,945	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	12,011	
	A.計(b+d)	20,398	98,500	64,774	56,174	12,011	
	B.執行済額	20,398	33,719	56,158	44,162	6,762	
	うち交付金充当額	16,318	18,661	53,241	35,330	5,409	
	次年度繰越額	0	64,774	0	12,011	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	34.2%	86.7%	78.6%	56.3%	
予算の状況の説明	仲宗根地区排水路道路整備工事において、予定していた流末排水の整備と道路整備の一部が地権者の同意を得られず実施できなかったため不用額が生じた。実施できなかった箇所においては既存の施設をそのまま使うことで事業目的は概ね達成できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲宗根排水路道路整備工事R3</li> <li>運天排水路整備工事(2工区)</li> <li>用地補償</li> </ul>		<b>目標</b> 張りコン設置工事、排水路工事	簡易舗装設計委託、張りコン設計委託、排水路整備設計委託、側溝設置設計委託、用地補償	張りコン設置工事、排水路工事、簡易舗装工事、側溝設置工事	排水路道路整備工事、排水路整備工事、用地補償	
<b>実績</b> 張りコン設置工事、排水路工事		簡易舗装設計委託、張りコン設計委託、排水路整備設計委託、側溝設置設計委託、用地補償	張りコン設置工事、排水路工事、簡易舗装工事、側溝設置工事	排水路道路整備工事、排水路整備工事、用地補償			
達成状況説明	運天排水路整備工事(2工区)は計画通りに実施し目標を達成した。仲宗根地区排水路道路整備工事R3は地権者の同意が得られず施工できない箇所が生じたが、既存の施設をそのまま使用することで事業の目的は概ね達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	工事の完了 <ul style="list-style-type: none"> <li>仲宗根地区排水路道路整備工事R3</li> <li>運天排水路整備工事(2工区)</li> </ul>		( )	・実施設計完了(張りコン工事、側溝設計、排水路設置工事、簡易舗装工事)・排水路設置工事完了	・工事の完了・用地測量、用地鑑定、用地取得の完了	( 工事の完了 )	( )
				実施設計完了	完了	工事の完了	
	[R4成果目標] 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		( )	( )	( )	( )	( 80%以上 )
							85%
進捗状況説明	運天排水路整備工事(2工区)は計画通りに実施し目標を達成した。仲宗根地区排水路道路整備工事R3は地権者との交渉が難航し令和3年度に繰り越した。令和3年度も引き続き交渉を行ったが同意を得られず施工できない箇所が生じたが、既存の施設をそのまま使用することで事業の目的を概ね達成できることからこれで工事を完了した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	事業の実施にあたって地権者の同意が得られず工事が施工できない箇所が生じた。用地の取得にあたって単価が折り合わなかったことも要因に挙げられるが、事業の内容に同意を得られない箇所もあった。	事業の目的や必要性について、地権者の理解と協力が得られるよう十分に説明し、計画通りに施工できるよう適切に進捗を管理する必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
事業を実施するにあたり事前に地権者等への説明を行うとともに理解と協力を求める。また、地元自治体とも連携して取り組むことにより円滑に実施できるように努める。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
50,924	50,924	40,739	10,185	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	